

10

2024

三重病院

ニュースレター

news letter vol.297

- 01 三重病院の保育士はこんなことをしています
外来からのお知らせ
- 02 夏の子ども健康教室2024開催
経鼻弱毒性インフルエンザワクチン
[第49回]東海地区小児糖尿病サマーキャンプ
- 03 やまばとギャラリー
糖尿病ワンポイントアドバイスNo.3
2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
2病棟(小児病棟) New Face紹介
- 04 5病棟の生活のひとコマ^⑨
通所支援事業のひとコマ
医療安全(BLS)研修
アレルギーエデュケーターの活動について
今月のみえツウちゃん
- 05
- 06 病院からのお知らせ／外来診療のご案内

三重病院の保育士は こんなことをしています

私たち保育士は療育指導室に所属しています。保育士は重症心身障がい病棟に2名、小児科病棟に1名配置されており、それぞれの病棟に入院する患者さんに、児童指導員と共に療育・保育活動を提供しています。

重症心身障がい病棟では、46名の入院患者さんに対し月ごとに療育計画を立案し、ベッド上で過ごすことの多い患者さんに少しでも季節を感じていただけるように、車イス移乗による散歩やスノーズレン活動、やまばとギャラリーへの展示作品の制作、感覚刺激などを行っています。また行事としては、毎月の誕生会、季節行事、はたちを祝う会、還暦お祝い会、七五三等を病棟の行事係スタッフと計画立案し実施しています。季節行事としては、3月にフラワーフェスティバル、7月になつまつり、10月にハロウィンパーティ、12月にクリスマス会を行っており、フラワーフェスティバル、ハロウィンパーティ、なつまつりには、感染対策を施しながら希望されるご家族の方にもご参加いただきました。行事を含め日々の療育活動や生活支援は、児童指導員、看護師、療養介助専門員等と共に、患者さんの安全を第一に考えながら実施しています。自己表現しにくい患者さんたちの心に寄り添い、患者さんやご家族さんの声を聴き、患者さんの生活が少しでも楽しい彩のあるものになるよう、これからも関わっていきたいと思っています。



小児科病棟では、おもに慢性疾病により一定期間の入院治療が必要なお子さんを対象に、日々の生活支援や療育・保育活動を行っていま

す。学齢期の子どもたちは、家族と離れて病気や治

療と向き合いながら入院生活を送っています。不安な気持ちを少しでも安心に変え、ひとりで、またみんなで協力して「やり遂げる」経験ができるように、花壇活動やこども夏祭り、クリスマス会などの参加・体験型の活動を計画実施しています。そのほか入院生活の振り返りや退院後の生活へと繋げるための「子ども全体会議」の開催や、宿題・学習指導、部屋の片づけや入浴等の生活指導など、生活全般に関する支援をしています。乳幼児期のお子さんには、ご家族さんも安心して病気や治療と向き合っていただけるよう、気分転換活動や発達を促進していけるような保育活動を提供しています。ふれあい遊びや感覚遊び、音楽、制作、ゲーム、スノーズレンなどの活動を通して、親も子ども笑顔でいられる環境を提供できるように、児童指導員、医師、看護師、心理療法士等、多職種で連携しながら関わっています。

重症心身障がい病棟、小児科病棟、通所支援事業では、保育士や児童指導員と一緒に患者さんが作品作りに取り組んでいます。売店横から5病棟に向かう廊下の窓際にそれぞれ展示していますので、待ち時間や入院中の気分転換としてぜひご覧ください。感想などをお聞かせいただくと、患者さんの励みになると思いますので、よろしくご協力いただければと思います。

(保育士 橋本 ひろみ)

外来から
の
お知らせ

休診
[眼科] 11/1(金) … 樋口(代診なし)
[小児神経科] 11/7(木) … 中村(代診なし)
[小児科] 11/19(火)・11/26(火) … 谷口(代診なし)

当院の都合で急遽休診が出ることがあります。気になるようでしたら、受診当日、当院までお問い合わせください。